

同時発表：
筑波研究学園都市記者会（資料配布）
文部科学記者会（資料配布）
科学記者会（資料配布）



文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム 第13回ナノテクノロジー総合シンポジウム (JAPAN NANO 2015) 開催について

平成27年1月20日
独立行政法人物質・材料研究機構

ナノテクノロジープラットフォーム事業は、微細構造解析、微細加工及び分子・物質合成の3つの分野で最先端のナノテクノロジー施設・設備を有する25研究機関が、全国の産学官の研究者に対して、利用機会を提供し、イノベーションにつながる研究成果の創出を目指す文部科学省の委託事業です。このたび、事業活動の一環として「第13回ナノテクノロジー総合シンポジウム (JAPAN NANO 2015)」を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

1. 会議の内容と期待される成果

ナノテクノロジーは、新規なナノ構造の創製、あるいは、未知の特異な機能を計測によって引出し、材料、デバイスさらにはシステム化することによって、エネルギー、環境、資源、医療などの課題解決に向けた飛躍的な技術革新につながることを目指しています。

今回の「ナノテクノロジー総合シンポジウム」では、ナノテクノロジープラットフォームによる最新の成果の報告とともに、新規なナノ構造の創製、ナノ計測の開発とそれによる未知の特異な機能の導出に基づく材料・デバイスのシステム化など、ナノテクノロジーがエネルギー、環境、資源、医療などの課題解決に向けた飛躍的な技術革新につながることを展望します。

基調講演には、大阪大学教授の河田聡氏をお招きして、「プラズモニクス：光でナノを操る科学」のお話を、トヨタ自動車株式会社の梅村晋氏には「材料技術が切り拓く革新的クルマ社会」についてのお話をいただきます。また、ナノテクノロジー研究開発のトピックスとして、新材料を目指す新しい潮流のコンピュータ主導材料設計、ナノテクノロジーを駆使して新材料を創製するのに不可欠な「観る、測る」技術の最近の進展、また最新技術の適用分野として、日本の産業を牽引する自動車関連部材を中心とした研究開発の動向をご紹介します。

シンポジウムに参加される皆様には、イノベーションに向けてのナノテクノロジーの貢献と研究動向を知っていただく場となる事を期待しております。

本シンポジウムでは、さらに、ナノテクノロジー研究基盤として先端機器の共用を進めているナノテクノロジープラットフォーム等による利用成果トピックスについても紹介いたします。

2. シンポジウム概要

- (1) 開催日時：2015年1月30日（金）
- (2) 場 所：東京ビッグサイト 会議棟1階レセプションホール（東京都江東区有明）
- (3) 使用言語：英語／日本語（同時通訳付）

- (4) 主 催：独立行政法人物質・材料研究機構
- (5) 参加費：無 料
- (6) 参加申込方法：シンポジウムへの参加をご希望の方は下記 URL よりお申込ください。
<http://nanonet.mext.go.jp/>

問い合わせ先：

シンポジウムに関すること：

〒305-0047 茨城県つくば市千現 1-2-1
独立行政法人物質・材料研究機構
ナノテクノロジープラットフォームセンター運営室
平原奎治郎（ひらはら けいじろう）
TEL:029-859-2134 FAX:029-859-2292
E-mail: hirahara.keijiro@nims.go.jp

広報に関すること：

独立行政法人物質・材料研究機構
企画部門広報室
TEL:029-859-2026
E-mail: pressrelease@ml.nims.go.jp